





# 日本の魅力を世界に伝えるCM制作

## 林 奈穂さん(メディア社会学科3年、青木貞茂ゼミ)



メディアの仕事にあこがれて法政大学社会学部に進学する若者は少なくありません。今春4年生になった林奈穂さんもその一人です。学生の満足度の高い充実したメディア教育の様子を知ることができました。(聞き手 依田素味、吉川新吾)

——ゼミでは何を

大手広告会社、博報堂出身の青木先生のゼミに所属しています。グループワークが中心でサブゼミがひんばんにあります。多摩オーブンキャンパスの企画や日本本の魅力若くは外国人に伝えるCMコンテストに参加しています。2年生のときは、「アハ！体験」の手法で多摩キャンパスの施設を紹介しました。遊びと学び

——卒論は？

大ヒットの映画「君の名は」について書こうかなと思っていました。私は劇場で3回観たのですが、小説を読んだ後は受け止め方が全然変わってきます。リビト客の多さが顕著です。から、何がこの現象を生んだのか、分析してみたいと思います。

——ところで、社会学部で面白いと思う授業は。

法政大学の広告をつくるのが課題の博報堂とのコラボによる特講「コミュニケーション・デザイン・デザイン」です。また、稲増龍夫先生の「メディア文化論

I・IIは試験のやり方が面白かった。授業内容にかなり論述を書かせてディベートに持ち込みます。学生たちが書いた論述をもとにディベートが進められます。(ディベートだけが評価対象ではないです)

——法政大学社会学部を選んだのは。

中高一貫校ではバスケットボールに夢中でした。本が好きなので作る側になってみたい、出版業界で働きたいな、と考えていました。滑り止めはつくりませんでした。MARUCHI以上の4校5学部を受験した中で合格したのが中大文学部、法政社会

学部の二択でした。メディア系の授業の充実度で法政を選びました。メディア社会学科は期待通り。判断は間違っていないと思います。

——学部同窓会に期待することは？

多彩な先輩方がリアルに実体験を語ってくれる就職サポートでしょうか。一年に1度、学部同窓会で就活セミナーを開催しています。知りませんでした。まだまだ認知度が低いのでですね。学部生の要望に応える企画と宣伝をいっそう頑張ります。



3年次に携った多摩ドラマ企画(2016年8月6日撮影) 稲増教授に監修を依頼、高校生をターゲットにしたドラマの企画を練るワークショップ



# 「コウケンテツ」の社会学

## 中筋 直哉 教授(社会政策科学科教授) 「地域社会学」「市民運動論」担当

ベストセラーのマンガ『コウケンテツ』(田中圭一、角川書店)が描く通りの世界に2年間苦しんで、今はほぼ普通の生活を送れるようになりまし。回復する途上で勉強の仕方を変えることにしました。その1つとして、石川淳志先生から引き継いだ担当科目「地域社会学」の看板を掛

け替えることにしました。2018年度から始まる予定の新しいカリキュラムでは、「市民運動論」とセットで、紆余曲折はありながらもいっそうグローバル化していく世界のなかで、ひとりの市民として生きていく困難と希望を考える授業をはじめたく思っています。そのなかで、とくに「コウケンテツ」という人に注目した話をするつもりです。いうまでもなくコウケンテツさんは人気料理研究家です。うつの底にあつて何にも関心を持てなかつたとき、唯一見ていたテレビが、アジアの郷土料理を訪ね歩く彼の紀行番組でした。少し回復してから彼の『トウガラシ』(講談社)を読

むと、子どもの頃、お父さんから無理矢理にトウガラシ辛いサバの煮付けを食べさせられたこと、それを食べられるようになることが大人になることだったと記されているように、レシビの方は美味しい不味いは描いて、どれもトウガラシを上手に活かしたいという熱意が伝わってくるものでした。その熱意はテレビ番組にも通底していたと思います。

そこから私の想像は少しずつ広がっていきます。イケメンのコウケンテツさんは、ファンのお子さんたちに「ダンナさんやお子さんがよろこぶ料理を」と呼びかけます。でもコウケンテツさんはダンナさんで、ときどき何週間も仕事でアジア

に行ってしまうのです。そこで感動したことを奥さんやお子さんとも共有できるのでしょうか。また、コウケンテツさんがこだわるトウガラシやキムチにあたる食べ物、私は持っているのでしょうか。子どもの頃食べさせられた塩を吹いた梅干しも、糠の匂いのきついタケワンも、今やネットでは

か買うことができませぬ。こんな想像を煮詰めていきながら、新しい講義案を作り上げようと思っています。

※中筋先生は、「群集の居場所」というタイトルのブログで、日頃の問題意識を披露されています。http://nnakasugi.ws.hosei.ac.jp/wp/

2017年3月中旬発行

# 知の史的探究——社会思想史の世界

監修 壽福眞美、編著者 柳啓明/千葉直美/奥谷雄一/島田昭仁 A5判・横組・上製・カバー付き 予価 4500円+税

「社会思想史ゼミ」で共に学んだ卒業生たちの論文集です。私の最終講義の原稿論文にもご注目ください。



1976年以来、学部・大学院の「社会思想史ゼミナール」で一緒に勉強した卒業生たちの論文集です。内容は、社会思想史からヘーゲル哲学、地域学、社会学まで多岐にわたりますが、近・現代社会の問題と学問的に格闘し、よりよい未来社会を展望する頼もしい論稿を寄せてくれました。私の収録論文「人類は生き延びていいか—社会思想史からの問いかけ(ego, empathy, eros, emotion, economy, energy, ecology)」は、2017年3月に法政大学を定年退職する際の最終講義の原稿です。たくさんのゼミ卒業生はもちろん、社会学部同窓会会員の皆さんも手に取っていただければ、とてもうれしいです。 法政大学社会学部教授 壽福眞美

八千代出版株式会社 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-2-13 TEL 03-3262-0420、FAX 03-3237-0723 E-mail yachiyo-pb@yachiyo-net.co.jp URL http://www.yachiyo-net.co.jp/

<本書の内容>

I編 社会思想史へのアプローチ		
1章 人類は生き延びていいか—社会思想史からの問いかけ		壽福眞美
2章 エロスの争い—18世紀末ブリテン急進主義と人口論		後藤浩子
3章 ホワイトヘッドの抱握 (prehension) とはなにか—事態の潜勢態をめぐる		伊藤 守
II編 ヘーゲルを読み直す		
4章 ヘーゲル哲学と外化—世界をトータルに把握する論理		滝口清榮
5章 若きヘーゲルの承認理論における労働と言語		高橋 良
6章 ヘーゲル 1820/21年『美学講義』の絵画論と19世紀初頭のアート		石川伊織
III編 地域学に臨む		
7章 原発再稼働に関する意識調査—柏崎・刈羽村からの報告		伊藤 守
8章 近代琉球の「境域」と政治文化—与那国郵便局成立史		柳 啓明
9章 ソーシャルワーク論の地平—自己修復の優先性と代弁的発話行為		島田昭仁
10章 戦後西独における自動車中心主義の形成—その政治的根拠		田村伊知朗
IV編 社会学からの視点		
11章 他者との通路の回復—自我をめぐる社会思想		奥谷雄一
12章 「言語法廷」あるいは「言語ゲーム」?—「世界言語」構築の試み		戸原正法
13章 社会学的想像力—私的体験から見える社会学の世界		千葉直美

# 田中優子総長 二期目スタート

## 長期ビジョン

### HOSEI 2030 具体化へ

2030年の創立150周年に向けて、法政大学は長期ビジョン「HOSEI 2030」を策定した。2017年度から4年間が任期の田中優子総長の二期目はその具体化を進める重要な時期となる。一期目から常務理事を務めた増田正人社会学部教授は副学長を兼務することになり、平塚眞樹社会学部教授は総長室長を統括する。総長出身の学部として、社会学部の役割はますます重くなる。

大学の公式ホームページには「HOSEI2030」の特設コーナーが設けられ、策定の過程やビジョンの構成・内容が詳しく紹介されている。その中には、卒業生(校友) ネットワーキの構築にかんする項目もある。

幸(経済学部教授) 矢野晴詩、山崎正俊、潮崎敏彦、北嶋正、松尾幸静、西村晴道、荒武連、竹中宣雄、齋藤哲夫、岩井昭、岡幸雄、酒井裕、小林清宣、鈴木洋一、田崎稔、中村寿美子、池上貞純、梅野洋司、石渡洋行、菊池由美子、松高理佳、小野寺素子。

▽理事 井上泰一(元角川書店社長、同 石塚護(元京浜急行電鉄専務)、潮崎敏彦(文化シヤッター社長)、小林清宣(元出光興産監査役)、監事 吉國浩二(元日本放送協会専務理事)、同 太田莊一(公認会計士)、牧野大輔(元法政大学監査室長)、池田竜一(弁護士)

寄附行為第20条第2号に定める卒業生評議員 矢部豊、竹石松次、三浦徹、井上泰一、中村育太郎、山本博史、中井千尋、石塚護、

# 中期経営計画策定の年 全力で役割を果たしていきたい

副学長・常務理事(社会学部教授) 増田 正人



みなさん、こんにちは。前期に引き続き、田中総長の下で、あと4年間、常務理事を務めることになりました。

3年前にスタートした田中総長の執行部も今年から2期目に入ります。今期の執行部は、公約に掲げ、議論を積み重ねてきたHOSEI 2030を着実に実施していくことが任務になります。HOSEI 2030は、昨年、その具体化のために16の部会が設置されました。この3月に各部会のア

クシヨンプランが提出されました。これらのアクションプランを移行するための、今期の理事会はまず4年間の中期経営計画を作り、そのもとで年次計画を立てて実行していくという方針です。長期の視点をもって中期計画を作り、着実に実行することになります。法政大学の財

政は非常に厳しい状況にあります。未来に向けた投資を積極的に行う必要があります。その財源を作るための財政改革も実施していかねばなりません。HOSEI 2030を進めるために、常務理事会体制の強化を図るとい観点から、寄付行為の改正が行われ、常務理事の増員が図

お気に入りが見つかると！

きつと見つかる！

オリジナルグッズ 専門ショップ

法政大学オリジナルグッズを発売する専門ショップが市ヶ谷キャンパスには2か所ある。ポアソナード・タワー地下1階売店と一口坂校舎1階情報発信スペース内売店だ。箱根駅伝をはじめスポーツ法政の最近の活躍で応援グッズを探しに来る卒業生が増えてきたという。

販売数量の多い人気商品は、小旗(500円)、ネクタイ(9柄)

1500円・1600円、タオル(800円)だが、品揃えが広がった。アパレル製品(パーカ2800円など)や、えこびんグッズ、キャンパス周辺の地図を可愛いイラストで配したマグカップなども人気。このほか、店内では産学協同プロジェクトから生まれた商品の紹介も行われている。

同店を統括するエイチ・ユー物品販売担当

www.h-u-goods.com/

## 校友会 三大イベント



全国卒業生の集いのご案内

は1月21日というスケジュールだ。学部、世代を超えてオール法政の面々が

一般社団法人法政大学校友会は、2017年度三大イベントの開催予定日をホームページ上で発表している。「第16回 オール法政ゴルフ大会」総長杯は9月4日、「第25回 法政大学全国卒業生の集い(宮崎大会)」は10月27日、「オール法政新年

集うイベントとなる。なお、第4回定時代表議員会議は6月26日に行う。

社会学部同窓会も校友会パートナー組織として三大イベントの参加の呼びかけに協力していく。詳しくは校友会事務局へお問い合わせを。電話 03・3264・1831。

鈴木・大保会計事務所

公認会計士 税理士 **鈴木 和男** (旧姓和田)

事務所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉 5-7-4  
TEL. 03-3993-2301 FAX. 03-3992-8823  
自宅 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目 3-5-10 TEL. 048-421-5852  
1954年3月卒 長谷川博ゼミ

法政大学社会学部同窓会

幹事 **藤永 正順**

自宅 〒733-0815 広島市西区己斐上 3-3-28  
TEL. 082-272-5534  
1957年3月卒 中島正ゼミ

**TAK**

TAKテナントビル業/マルカパーキング/バーラーあむ〜る

代表取締役 **加藤 照親**

〒410-1127 静岡県裾野市平松 474 TEL. 055-992-0052  
E-mail: t-kato@ksn.biglobe.ne.jp  
1959年3月卒 笠原千鶴ゼミ

税理士法人 TMS 池袋本部事務所  
税理士、社会保険労務士、行政書士

代表社員 **後藤 次仁**

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-17-11  
TEL. 03-3982-8482 (代) FAX. 03-3988-8062  
E-mail: t-gotou@tkonf.co.jp  
1959年3月卒 笠原千鶴ゼミ

村串 仁三郎 法政大学名誉教授 著

『高度成長期日本の国立公園』  
——自然保護と開発の激突を中心に——  
(時潮社、3500円)

1959年3月卒 長谷川博ゼミⅡ部

法政大学社会学部同窓会

**土屋 幸雄**

自宅 〒194-0203 東京都町田市園師町 2224-4  
TEL・FAX. 042-793-5550  
1960年3月卒 長谷川博ゼミ

法政大学社会学部同窓会

幹事 **北條 利男**

E-mail: Ktmars@popler.ocn.ne.jp  
1960年3月卒 秋田成就ゼミ

東京実業有限会社

代表取締役 **千葉 正顕**

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-11-10 コハラビル 2F  
TEL・FAX. 03-5577-3151 携帯 090-4415-2515  
1961年3月卒 山本巖ゼミ



# シャカイ人

## OB・OG



貴金属メーカー勤務  
**遠藤 嘉紀さん**  
2011年卒、矢部恒彦ゼミ

台湾 台北市内で(2016年1月撮影)

私は86年生まれ、30歳を迎え、少しずつ基礎代謝の低下を感じ始めています。この頃、近況を述べさせていたきます。

学生時代は、ウェブ制作を行う矢部恒彦ゼミに所属。3年次には、受験生に向けた社会学部公式サイト「SOC」の制作を行い、ターゲットである受験生にリアルな大学生活を伝えるために、多摩キャンパスを駆け巡りながら取材活動と、毎日夜遅くまでメンバーと共に会議・編集を行うという、充実した日々を送りました。

### 海外で通用する ビジネスパーソンを目指して

「純金積立」や「純金積立レコメ」の会社です。金の積立やジュエリー・ブライダル販売の会社、と一般的に思われがちですが、メイン事業は産業用貴金属製品の製造・販売・輸出入、および貴金属の回収・精製です。

管理部門として入社し、5年目まではヒト・モノ・カネの包括的な管理能力を身につけるため、様々な部署をローテーションで回りました。うち1年間は、台湾にある現地法人での実習を送りました。

海外で働くことは、前述のような苦労も多いですが、それ以上の面白さ、やりがい、また異文化生活の中で受ける刺激は、日本に比べてはるかに大きいです。現在は、東京・丸の内の本社にて、債権債務管理や外国為替業務に従事しております。

「東西南北 会員の短信から」は、紙面構成の都合で休みました。

法政大学大学院 教授  
連帯社会インスティテュート・運営委員長  
NPOサポートセンター 理事長  
法政大学社会学部同窓会  
副会長 **山岸 秀雄**  
大学研究室 TEL. 03-3264-4704  
NPOサポートセンター 東京都中央区銀座9-12-11  
TEL. 03-3547-3206  
1969年3月卒 佐藤毅ゼミ

人材形成研究所代表  
経理相談所3条ネットクラブ  
東京法政ライオンズクラブ 前会長  
法政大学社会学部同窓会  
常任理事 **水上 久忠**  
携帯 090-4077-1223 自宅 TEL. FAX. 03-3787-3476  
2002年9月卒 法政大学社会学部同窓会  
1970年3月卒 高橋晴之ゼミ

学校法人中央学園  
中央福祉医療専門学校  
理事長 校長 **宮杉 早苗江**  
本部〒323-0022 栃木県大田原市野東通り 2-24-28  
TEL. 0285-24-1571 FAX. 0285-24-2522  
E-mail: msanae@peach.ocn.ne.jp  
http://www.chuo-fukushiiryuu.ac.jp  
1970年3月卒 田沼隆ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
常任顧問 **中山 重臣**  
自宅〒242-0008 神奈川県大和市中央林間4-29-14  
TEL. FAX. 042-275-3022  
1961年3月卒 土生長穂ゼミ

柏市地域づくり推進委員会 委員  
法政大学社会学部同窓会  
常任理事 **中村 一廣**  
自宅〒277-0086 千葉県柏市永楽台3-9-3  
1961年3月卒 増島宏ゼミ

東産業株式会社  
取締役副社長 **河村 勝弘**  
Mobile 080-3259-4708  
(応用経済学専攻の方、連絡先)  
1963年3月卒、土生長穂ゼミ

法政大学評議員  
**ミサワホーム株式会社**  
代表取締役社長 **竹中 宣雄**  
〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番19号  
TEL. 03-3345-1111(代)  
1975年3月中野ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
**株式会社 コロンパン**  
代表取締役社長 **小澤 俊文**  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-31-19  
TEL. 03-3409-2301(代)  
1975年3月卒 庄司ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
**濱名 達**  
自宅〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井888  
TEL. FAX. 042-557-0135  
1965年3月卒 北川隆吉ゼミ

法政大学評議員  
株式会社新潟放送  
代表取締役社長 **竹石 松次**  
〒950-0972 新潟県新潟市中央区新和3-12-6  
1966年3月卒 佐藤毅ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
理事 **塩田 利明**  
〒347-0012 埼玉県加須市多門寺1153  
TEL. 0480-68-5118  
1967年3月卒 土生長穂ゼミ

## 社会学部同窓会“中興の祖” ぶれない羅針盤役で母校に貢献

### 元会長森田忠男顧問 を悼む

昨年12月、急逝された森田忠男顧問への追悼文の一部を紹介します。

大学の民主的運営に尽力  
社会学部が学部教育の環境と内容の飛躍的發展を希求して、多摩キャンパスに移転した後の難しい時期に、森田忠男氏は初代同窓会長、黒坂一久氏の後継として、移転を機に市ヶ谷時代に欠けていた卒業生や学生のつながりを追求し、同窓会の固有の役割を培うために、社会学部同窓会づくりに尽力された。学生が法政大学社会学部で学ぶことを誇りに思えるようにという意図である。

お見舞いにかがやみし  
たが、お休みな中でお話できず、それ最後の別れとなり、2014年10月10日に同窓会報記事のインタビューをさせていた。森田氏は、穏やかな笑顔とお洒落でダンディな身の上を、そして確かな記憶力で同窓会の歴史を語ってくださった。思い出すたびに

昨年12月19日、社会学部同窓会の元会長、森田忠男顧問が入院先の病院で亡くなられた。82歳だった。10月22日、散歩中に倒れ、八王子市内の病院に救急搬送され、治療を続けていた。一時は回復し、リハビリ治療のため12月13日、あきる野市内の専門病院に転院した。その一週間後の深夜、息を引き取った。

12月23、24日八王子市内の斎場で行われた通夜・告別式には、大学からは増田正人常務理事、学部からは徳安彰学部長と鈴木智道先生、また、退職職員から石坂悦男先生が参列された。また、同窓会からは、中山常任顧問他7人と経済学部同窓会から1人が参列した。

森田さんは、同窓会が発足した89年(平成元年)からの会員で98年(3期)会長を務めた。また、法政大学卒業生評議員選に社会学部同窓会の推薦で立候補し当選。法政大学評議員を

かわいく可愛られる存在だからペットと呼ばれるのだらう。我が家で来るの8年間、兄弟同然に過ごした男の子の頭。牛乳を飲む世話をしたかった。時を細くして熱中するが、面倒さを超えて情が付き、人間社会の静(いさか)い、緑もゆかりもない者同士の憎しみ、殺し合い、それを仕向ける「集団の指導者」に辟易する世情の今だから、私は愛すべきフレンドの爪の垢を彼らに飲ませた。

(山田幹夫、第二社会学部 1970年入学、芝田進年 ゼミ)



お気に入りの写真から

### 法政大学評議員を 3期9年

森田さんは法政大学新聞「同窓会を手伝え」と声をかけられて活動に参加するようになった。「人の輪、心の絆、自主と連帯」を運営上、大切にされていたことを思い出します。森田さんの後継いだ3代目会長鹿山秀佳さんも、30年同窓会のメンバー。両先輩が鬼籍に入り、さまたまな事もおもひますね、を迎えたい。感謝と御礼。伊藤正義

### 困難を打開する力

東日本大震災の年の5月、立川市の昭和第一学園高校で新生死亡事故が起きた。同校の理事長は、た

### 森田忠男 顧問の歩み

1934年、昭和9年生  
1986年10月、取締役に就任  
1995年12月、株式会社 地方行政学会(現きよせい)入社  
1982年10月、営業部長  
1999年4月、法政大学評議員就任(2008年3月退任)  
2008年7月、昭和第一学園理事長に就任  
2014年3月退任  
1996年10月、株式会社 法政大学社会学部同窓会顧問、昭和第一学園常任顧問

### 決意ある一貫発言

森田さんと選挙で法政大学卒業生評議員に選ばれた202年(平成14年)から6年間一緒で事故調査委員会を設け、中部大学教員会を退任後、同年9月、事故調査報告書を出し、外部の介入は一切なく自主的に事故を解明できた。温かく森田さんの困難を打開する力量と構想力を知った。(大橋弘二 毎日新聞論説委員)

2015年8月、日本橋板にある「蕎麦(きょうら) 浜町で手打ちそば店を開業しました。卒業後、アパレル会社の営業社員となり、高橋 敏

### 「同窓会を手伝え」と声をかけられて

森田さんは法政大学新聞「同窓会を手伝え」と声をかけられては活動に参加するようになった。「人の輪、心の絆、自主と連帯」を運営上、大切にされていたことを思い出します。森田さんの後継いだ3代目会長鹿山秀佳さんも、30年同窓会のメンバー。両先輩が鬼籍に入り、さまたまな事もおもひますね、を迎えたい。感謝と御礼。伊藤正義

### 「同窓会を手伝え」と声をかけられて

森田さんは法政大学新聞「同窓会を手伝え」と声をかけられては活動に参加するようになった。「人の輪、心の絆、自主と連帯」を運営上、大切にされていたことを思い出します。森田さんの後継いだ3代目会長鹿山秀佳さんも、30年同窓会のメンバー。両先輩が鬼籍に入り、さまたまな事もおもひますね、を迎えたい。感謝と御礼。伊藤正義

### 「同窓会を手伝え」と声をかけられて

森田さんは法政大学新聞「同窓会を手伝え」と声をかけられては活動に参加するようになった。「人の輪、心の絆、自主と連帯」を運営上、大切にされていたことを思い出します。森田さんの後継いだ3代目会長鹿山秀佳さんも、30年同窓会のメンバー。両先輩が鬼籍に入り、さまたまな事もおもひますね、を迎えたい。感謝と御礼。伊藤正義

### 私論 安倍政権の 働き方改革 に異議あり!

鈴木 康功  
84年卒 秋田成就ゼミ  
労働法

### 蕎麦店修業を経て 自分の店を持つ

「浜町かねこ」店主 金子 泰史さん  
99年、応用経済学科卒業

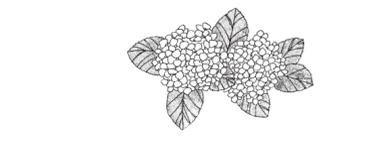
2015年8月、日本橋板にある「蕎麦(きょうら) 浜町で手打ちそば店を開業しました。卒業後、アパレル会社の営業社員となり、高橋 敏

飲みながらお蕎麦を楽しむ店が少ないと思ったので、蕎麦店としては珍しいカウンター越しに料理を出すスタイルに、初めの頃は来客数ゼロという日もありましたが、ようやく常連さんができるようになりました。お勧めは石臼で製粉した十割細蕎麦。そば粉は会津産と茨城県常陸産をブレンド。カレー蕎麦1300円、バクが注文の8割で特に入ります。いけずから取り出したエビや穴子その場さばいで揚げた天ぷらにも自信があります。

法政大学社会学部同窓会  
常任顧問 **中山 重臣**  
自宅〒242-0008 神奈川県大和市中央林間4-29-14  
TEL. FAX. 042-275-3022  
1961年3月卒 土生長穂ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
**濱名 達**  
自宅〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井888  
TEL. FAX. 042-557-0135  
1965年3月卒 北川隆吉ゼミ

法政大学社会学部同窓会  
理事 **塩田 利明**  
〒347-0012 埼玉県加須市多門寺1153  
TEL. 0480-68-5118  
1967年3月卒 土生長穂ゼミ



### 第一回は多摩世代卒業生の 手打蕎麦の名店

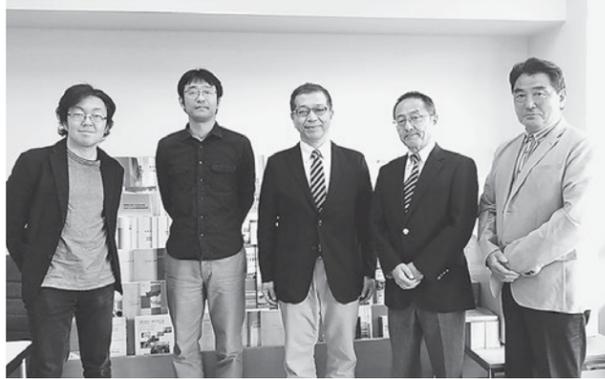


## 新企画 スタート！ 大人のグルメ散歩

社会学部同窓会は、新しい交流企画「大人のグルメ散歩」を始めます。社会学部同窓会会員のゆかりのお店を訪ねる企画で、数年前まで行われていた散策イベントをリニューアルしたものです。学部卒業生などが経営する飲食店を応援すると共に、これまで同窓会の活動にほとんど参加してこなかった会員や、若い世代の卒業生との交流の機会にしようという狙いもあります。

第一回は会報本号4ページで紹介された、社会学部卒業生 金子泰史さん(99年卒)が経営する「浜町 かねこ 手打蕎麦」。センスのいい隠れ家的なお店で、「彗星のように現れた美味しいそば屋さん」「食ベログ」など、蕎麦通からは高い評価を得ています。開催日時は、7月15日、午前11時15分に東京メトロ半蔵門線水天宮前駅5番出口集合の後、11時30分に「浜町 かねこ」着。懇親会後、水天宮見学・お参り。午後2時30分解散(予定)。参加費は6千円(予定)。参加申し込みは、事務局に電話で直接申し込むかファクスで(042・783・2421、月・水)。お店の定員になり次第、参加受付は終了。なお、本企画の継続のために、社会学部卒業生などが経営するお店の情報をお寄せください。

## ホームカミングデイの 成功へ向けて協業を確認



左から、津田、樋口、徳安、高橋、中(敬称略)

### 教授会執行部との懇談会

社会学部同窓会では4月17日に定例の教授会執行部との懇談会を行った。徳安学部長から「社会学部卒業生のつながり強化のために、同窓会の協力を引き続きよろしく願いたい」、そして同窓会の高橋敏会長からは、「同窓会役員の人的資源は限られてはいるが、さらに多くの同窓生を巻き込んでいきたい」という挨拶があった。中正美事務局長の司会進行で「本年度の運営方針」、「6月の総会」、「50号迎えた同窓会報」、「今年度の活動計画」について相互確認を行った。特に今年度の同窓会総会は、会報50号記念行事「ホーム・カミングデイ」と銘打ち、社会学部教授会と社会学部同窓会の共催で開催、「青春の学び舎を語る会」としてパネルディスカッションを実施する。成功に向けて、教授会から退職された名誉教授、現職の先生方にも参加を呼び掛けていた。同窓会では参加者動員のために、60歳定年を迎えた世代に対してアプローチを強化する。

さらに、同窓会からは同窓生が経営しているお店やペンションを回る「大人のグルメ散歩」、「大人のゼミ合宿」などの新企画の説明を行った。教授会と同窓会の連携強化を確認し、約1時間の懇談会を終えた。今回の懇談会には、教授会執行部から徳安彰学部長、樋口明彦教授会主任、津田正太郎教授会副主任、同窓会側からは高橋敏会長、中正美副会長、依田素味理事が出席した。(依田素味)

## 卒業祝賀会に 11人参加

### 学部同窓会の 存在アピール

3月24日、社会学部の卒業祝賀会が市ヶ谷キャンパスの薩埵(さつた)ホールで行われた。開会の午後2時30分には、武道館での卒業式を終え、教室で配布された卒業証書を手にした卒業生が会場ホールにあふれた。男子学生はスーツ、女子学生は羽織袴姿が目立った。司会は、4年生の是永千



恵さんと齊藤国浩君の二人で進められた。途中、高橋敏社会学部同窓会長の祝辞と優秀卒業論文表彰が行われ、表彰者3人のうち当日出席した2人に表彰状が手

渡された。その後、応援団の指導で応援歌・校歌と続き、最後に徳安社会学部長の祝辞でお開きになった。社会学部同窓会からは、会長、事務局長など11名が参加した。

毎年日本武道館で行われる卒業式は、午前、午後に分けて開催。学部長はすべての学部の式に参列する事柄から、徳安学部長の挨拶は祝賀会の最後となった。(瀧名達)

## 経済学部同窓会 ベトナム・カンボジア 旅行に参加

今年2月下旬から現地4泊6日の日程で行われた経済学部同窓会設立25周年記念・第19回海外旅行「ハロウィン湾クルーズとアンコールワットを巡る旅」に参加した。ハノイ市観光ではホーチミン廟や世界自然遺産のハロン湾を訪問する一方、法政大学職員の田中一平氏(JICAベトナム事務所)から、「ベトナム現地事情・現地大学事情等」の講義を受けた。また、協定校であるベトナム国家大学にも立ち寄った。(水上久忠)

### 新会員の紹介

(受付期間 16年11月~17年4月)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 山田 幹夫(75年卒) | 石河 祐(17年卒)   |
| 西尾 公甫(17年卒) | 岩崎 和沙(17年卒)  |
| 久永 僚(17年卒)  | 田沢 健太郎(17年卒) |

法政大学社会学部同窓会 理事  
司法書士・行政書士 木村事務所

司法書士 **木村 誠**

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-7 翔和多町ビル2階  
TEL.03-3256-7058 FAX.03-3251-2205  
E-mail: cau30510@pop21.odn.ne.jp  
1977年3月卒 土生ゼミ

法政大学社会学部同窓会

副会長 **中正美**

TEL.090-8586-1242  
E-mail:qqkt5de9k@mocha.ocn.ne.jp  
1975年卒

法政大学社会学部同窓会

会長 **高橋 敏**

TEL.090-1802-2908  
E-mail:binta2908@ezweb.ne.jp  
1978年3月卒 金山行孝ゼミ

55/58 きおくプロジェクト

**吉川 新吾**

E-mail: shingo-y@festa.ocn.ne.jp  
1987年3月卒 田中義久ゼミ

特定非営利活動法人(NPO法人)教育サポートセンターNIRE  
代表  
特別支援教育士(S.E.N.S)

**中塚 史行**

〒142-0053 東京都中野区5-6-14第一亀田ビル2F  
TEL/FAX 03-3784-0450 メール info@npo-nire.org  
1995年3月卒 土生ゼミ / 法政大学社会学部同窓会理事



社会学部同窓会報に名刺広告を出しませんか？ 広告料金は一枠5,000円(税込み)です。

※配置は原則として卒業年順です。会報編集委員会にお任せください。

※お申し込みは同窓会事務局まで。

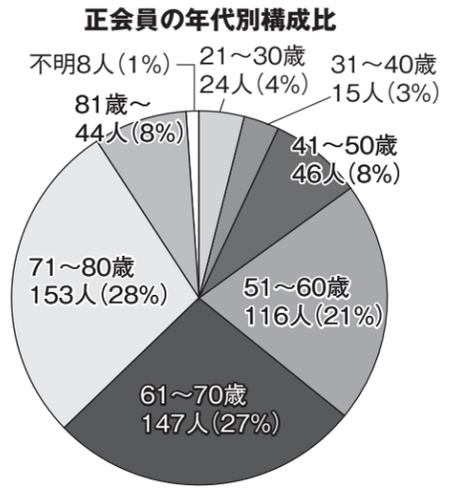
所属・職名、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、3月時点卒業年、出身ゼミ名、一言メッセージをお知らせください。

# 2017年度 社会学部同窓会 定期総会(6月10日)へのお誘い

みなさん、こんにちは。社会学部同窓会会長の高橋敏です。定期総会への皆様参加と、今回の総会の活発な議論を期待して、今号の会報に定期総会の議案の主な要点を掲げたいと思います。なお、議案は、5月中旬に開催する役員会で検討後に、正式な議案として作成し印刷する運びとなります。このため、総会当日にご提案する議案とは若干異なる箇所が出るかもしれません。

## 定期総会の主な論点

1、60代以下の正会員の増加  
定期総会では、参加者の皆さんに次の件について考えていただきたいと思えます。第一に、正会員数の停滞と減少による活動費の不足



## 会報50号発行記念企画

### 「想い出の学び舎を語る」

### パネルディスカッション!

6月10日の定期総会終了後、会報50号発行記念企画「想い出の学び舎を語る」パネルディスカッションを行う。「昨年、市ヶ谷キャンパスに新たに「富士見ゲート」が加わり、2021年1月までは55・58年館も解体予定。この機会に、私たちの学び舎の想い出を語り合うことにより、社会学部同窓会員の記憶の共有化を図ることが目的だ。

開催日時は、総会終了後の午後2時30分から午後4時、会場は「富士見ゲート」4階教室G401。参加すれば新校舎と市ヶ谷キャンパスの変貌を体感できる。パネリストは、金山行孝名誉教授、徳安彰社会学部長、市ヶ谷キャンパス世代の卒業生、多摩キャンパス世代の現役生または卒業生の計4名。金山先生からは、学部独自の4年間一貫縦割教育体制の実現の場となった多摩

キャンパスの理想と校舎建築への思いをたっぷり語っていただく。市ヶ谷キャンパス時代の社会学部については80年代の卒業生が、法政独特の日々の様子を思い起こしながら55/58年館の記憶を語る。今後数年で市ヶ谷キャンパスは大きく変わる。55/58年館はすでに511教室や58年館のエントランスの一部が無くなり、今後、解体が本格化する。貴重なお別れの場となる。新校舎「富士見ゲート」の紹介や今後の整備計画の全容についても資料配布が行われる予定だ。



外濠校舎側から見た55・58年館



58年館1階カウンター前(3枚とも2017年5月撮影)



58年館3階エレベーターホールから835教室の方向を見る

グラフ「正会員年齢別割合」  
○対象：2016年1月の名簿から、過去5年間に会費を納入した会員553人(正会員)  
○年齢：卒業年より年齢を300人  
○数値：10歳区切り年齢

2、初めての人を誘いやすいイベント  
第二に、新たなイベントへの取り組みです。仲間内の懇親会ではなく、常に新しい参加者がいるような、まだ正会員になっていない方、特に若い世代を気軽に誘えるものを次々に実施し、活動を活性化したいと思います。試みとして「大人のグルメ散歩」を企画しました。2018年度には「大人の宿泊体験旅行」、「大人のゼミ合宿」(仮称)を立ち上げる予定です。参加者のご意見をうかがえれば幸いです。

以上、よろしくお願いたします。  
※フェイスブックやツイッターでもお誘いを掲げます。  
シェアやリツイートで拡散をお願いします。

## 寄付者ご芳名

16年11月~17年4月末  
(敬称略)  
皆様から寄せられましたご厚志を心から感謝いたします。会の貴重な運営費として活用させていただきます。

- 1口 水上 久忠
- 2口 加藤 照親
- 4口 植田 孝良
- 5口 山岸 秀雄
- 7口 鶴巻 宏治
- 近藤 雅史
- 伊藤 一郎
- 田原 明憲
- 八塚 典男
- 杉原 文雄
- 川勝 勝弘
- 河村 昭吉
- 柳澤 昌宏
- 内田 仲夫
- 福田 伸夫
- 藤永 正順
- 山田 道生
- 笠原 邦丸
- 千葉 輝男

## 訃報

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

- 折田 一 (58年卒) 16年7月ご逝去
- 森田 忠男 (56年卒) 16年12月19日ご逝去
- 小泉 透 (57年卒) 16年12月ご逝去

同じ学び舎で過ごした仲間たちに、情報発信しませんか。(お店や著書の紹介、各種営業案内もOK!)

## 社会学部同窓会報 広告のご案内



- ◆媒体名：法政大学社会学部同窓会報
- ◆発行日：6月1日、1月1日(年2回発行)
- ◆体裁：モノクロ タブロイド判 全8ページ
- ◆発行部数：2500部
- ◆配布先：社会学部同窓会会員、社会学部教職員、社会学部教職員OB・OG、社会学部棟、市ヶ谷図書館、多摩図書館、校友会関係者、他学部同窓会関係者
- ◆お申し込みは、社会学部同窓会会員、法政大学関係者に限らせていただきます。\*発行日の2か月前までにお申し込みください。
- ◆原稿製作・入稿については別途ご連絡させていただきます。

<広告料>第2面、第7面、第8面  
(大)天地100mm×左右240mm 40,000円(税込み)  
(小)天地100mm×左右120mm 20,000円(税込み)  
(名刺広告) 一枚5,000円(税込み)  
\*製作は会報編集委員会にお任せください。  
所属・職名、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、3月時点卒業年、出身ゼミ名、一言メッセージ

### 〈お問い合わせ・お申し込み〉

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 ☎・FAX: 042-783-2421 (社会学部同窓会 事務局)  
メール: shingo-y@festa.ocn.ne.jp(会報委員会 吉川新吾)



南会津のきれいな星空を観たくなったら  
のんびりブナの森を散歩したくなったら

## ナチュラルリストの活動拠点 フィールドイン楓林舎

環境・自然・天文・野鳥関係書籍、図鑑等多数  
代表 三野輪真明(社会学科1979年3月卒 金山ゼミOB)  
〒967-0026 福島県南会津町(旧田島町)針生屋滝山857-27  
TEL 0241-64-2535 URL: http://fuurinsha.eco.coocan.jp

# 2016年度、 社会学部卒業生から NHK、テレビ朝日の アナウンサー

## 30期迎えた

# 「法政大学 自主マスコミ講座」

——まず2016年度卒業生の就職状況を。主要マスコミへの内定者

「法政大学自主マスコミ講座」は、今年度で開設30年の節目を迎えました。1988年度に30名2コース制でスタートしたこの講座は現在、(1)アナウンサー、(2)新聞・報道記者、(3)出版、(4)放送、(5)広告、そして(6)基礎2年、(7)基礎1年の7コースで、300人を有する自主講座となっています。

この講座は、全学を対象とするもので、単位習得はできませんが、代表顧問が社会学部教授の稲増龍夫教授ということもあり、多くの社会学部の学生が参加しています。

(桑原政昭)

——ご覧になっていて、社会学部という個性はありますか。

みなさん元気です。活気がありますね。社会学という学問の性格もあるのでしょうか。授業でフィールドワークが、身につけているようです。

普通の社会学部生だと、市ヶ谷キャンパスまで、来る機会はありません

だから熱心ですね。

社会学部の学生は、講座を

目指して入学する学生が多いようです。

さらにテレビ朝日のアナウンサー、日本テレビとフジテレビには総合職として、就職を決めています。

自主マスコミ講座に入る社会学部の学生は、講座を

目指して入学する学生が多いようです。

55名に達しています。なかでも社会学部の卒業生は、NHKにアナウンサー、ディレクター職、映像制作職、記者職として4名入っています。これは今までにない快挙です。

が、自主マスコミ講座では他の学部の学生と交流して、一生涯の友達ができますね。

自主マスコミ講座 表現する仕事で社会に貢献

第30期 春季生募集 2017 SPRING

NHK、読売、日経、日テレ、フジ、テレビ朝、電通、博報堂などマスコミ55名内定

NHK6名内定!

学生の実夢を叶えて30年

テレビ朝日アナ内定  
フジテレビアナ内定

読売新聞2名、産経新聞1名、電通、博報堂各1名、ADK2名が、入社しています。

また、全国型大学のメリットを生かして、地方出身者が、それぞれ地元のマスコミに入る例も、多く見受けられます。

——授業を見学すると、みなさん非常に緊張感を持って受けていますね。授業は、毎週土曜日、原

ANA9名内定!  
8年連続でキー局アナ誕生!!

第30期春季生募集パンフ  
表紙はテレビ朝日アナウンサーに決まった三谷紬さん(社会学部)



2016年度12月に開かれた祝賀会



自主マスではマンツーマンの授業も

が、自主マスコミ講座では他の学部の学生と交流して、一生涯の友達ができますね。

また、全国型大学のメリットを生かして、地方出身者が、それぞれ地元のマスコミに入る例も、多く見受けられます。

——授業を見学すると、みなさん非常に緊張感を持って受けていますね。授業は、毎週土曜日、原

則午後1時から6時までですが、授業に熱が入ると7時、8時まで、教室に明かりが点いているのは、普通です。

そんな中、事務局は「表現する仕事で社会に貢献」を理念として掲げて、人材を養成しています。単なるマスコミ予備校ではなく、礼儀作法にも気を配ります。

受講生は、マスコミに入った先輩たちからも、真摯な教えを受け、学生同士も連携して、マスコミの情報をお教え合って、切磋琢磨しています。

つまり、タテの糸とヨコの糸がうまく、織りなされています。30年経った今、OB・教職員・現役生が三位一体となって、学生の夢を支援する体制が出来上がりました。兄弟姉妹の講座生は普通にいますが、今では講座OBの子息が講座生になっています。

嬉しいですね。事務局冥利に尽きます。



## 一般社団法人 法政大学校友会

終身会員募集中！(終身会員 30,000円) 詳しくはお問い合わせ下さい。

<http://www.hoseinet.jp>

法政大学校友会

- |     |       |      |      |    |      |
|-----|-------|------|------|----|------|
| 会長  | 桑野秀光  | 井上泰一 | 豊田信哉 | 監事 | 矢部豊  |
| 副会長 | 佐々木郁夫 | 五明公男 |      |    | 山崎正俊 |
|     | 小林清宣  |      |      |    | 発地敏彦 |
|     |       |      |      |    | 小川浩幸 |

事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 九段校舎 4階  
TEL 03-3264-1831 FAX 03-3264-4770 E-Mail: jimukyoku@hoseinet.jp